

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



梅雨の合間の青空
(7月10日 大教会神苑で)

教祖130年祭に向かって

成人目標

おつとめ奉仕人の増員

立教175年
7月号

お話し勉強会開催

8月月次祭後、テーマは「旬」

育成部

大教会新機構(4月21日付発令)の中で育成掛が育成部に昇格、同部におたすけ掛が新設された。これを受けて育成部(吉岡壽部長)では8月21日、大教会8月月次祭後に「お話し勉強会」を開催、新たに「おさづけの取り次ぎ」も行われる。これまで勉強会は開催されていたが中断、このたび再開となった。

今回のテーマは「旬」。対象は布教所長、よふぼく、信者。場所は会議室(上の間)。お話し勉強会は午後1時15分から同35分。引き続き午後2時までねりあいを行う。

おさづけの取り次ぎは、所定の申込み用紙(神事所に用意)に内容を記入の上、神事所に提出。祭典終了後、神殿にてお話し、おさづけの取り次ぎがある。多数の参加を期待している。



パレードスタンド周辺で作業



細かい所も心をこめて



神殿ふしんの用材を切り出す

養科に参加させて頂いた時に身上のご守護を頂き、天理教の素晴らしさを実感することが出来ました。ですが、修養科を修了し普段の生活に戻ると、修養科の時に勇みまわっていた気持ちは一瞬で冷めてしまいました。早くも天理教離れしている

おやさとで伏せ込みの汗

青年会ひのきしん隊

青年会笠岡分会(上原勇委員長)では、おやさとふしん青年会ひのきしん隊第783回隊(6月隊)に、9名で入隊(入隊者は、先月号に記載)。24日間、勇んでつとめた。

6月は、こどもおぢばがえりの看板製作や、会場準備、蛇谷山での木出しひのきしんなどを行った。また、1日の作業を終えてから、笠岡分会として三味田方面に、にをいがけに出たり、神殿回廊拭きをしたり、詰所でのペランダ洗浄ひのきしんをするなど、精力的な1ヶ月を過ごした。

また、隊員お互いが、おさづけの取次ぎをしなから、一人も欠ける事無く、無事に隊期を過ごした。
(青年会副委員長 上原 繁次)

ひのきしん隊に入隊して

吸江分会 西村 理人

私は、この度初めて青年会の1ヶ月ひのきしん隊に参加させて頂きました。男臭い環境の中で、素晴らしい経験を積むことができました。

私の家は布教所で、小さい頃から天理教が身近にある環境で育ちましたが、天理教を避けて生きてきました。両親がなぜ信仰をしているのか分からず、身近にありすぎて、信仰の有難みが分からなかったからです。しかし、去年の6月に修



暑さもいとわず神名を流す



路傍で熱い思いを語る

自分に神様は、去年と同じ身上を見せて下さいました。おそらく、離れていく自分をグッとまたお引きよせ下さったのでしよう。「神様は私の事が大好きなんです」と高慢の私は思いました。しかし、身上で苦しむ中、修養科で狂ったように勇みまくっていた時を美化しすぎてしまう自分がいて、「今の自分は本当の自分じゃない」と勇めない自分を責め続けていました。

そんな時に、ひのきしん隊の誘いを受け、天理に行けば何か変わるかもしれないと思いついて頂きました。初めは、慣れない集団生活や作業に戸惑うことが多く、ともしんどかったです。しかし、笠岡の人や同じ班になった朝倉分会の人

がとても親切で、徐々に慣れていくことが出来ました。毎日が段々楽しくなってきました。最後の2週間はあつという間に過ぎてしまいました。気付いたときには、自分の身上も良くなっている、改めておぢばはすごいところだなと思いました。

修養科を修了してからの自分は、天理教を信仰している理由が分からなくなっていました。しかし、ひのきしん隊に参加して自分は天理教を信仰している人が好きだから、信仰したいという気持ちがあるのだと気付くことが出来ました。それは神じゃなく人を目標にしているということにもなるかもしれませんが、まだまだ未熟なひよつこの私にはそれくらいシンプルな考え方がピッタリだと思います。

またおぢばを離れて元の生活に戻っていきませんが、ひのきしん隊で気付かせて頂いたことや、出会った人々のつながりを大切に、信仰心を絶やさずに日々の生活を送っていききたいと思います。



屋根の部分が取りはずされた(7/10)

中庭ステージ撤去

次回使用まで小川工業が管理

昨年の大教会創立120周年記念祭時に、アトラクション用に中庭に設置されたステージの撤去作業が7月10日から小川工業(芦加茂分よぶく・小川孝夫社長)によって行われた。作業は2日間の予定。屋根と支柱は解体され、次回の使用時まで同社が管理する。(7月11日記)

詰所看板取り付け

ひのきしん

こどもおちばがえりに向け

こどもおちばがえり実行委員会(佐藤道孝委員長)ひのきしん部(虫明立生部長)では、6月21日大教会祭典終了後、看板の取り付けをする為、有志7人で笠岡詰所に向け出発した。台風4号が過ぎ、低気圧に覆われている中国、四国、近畿地方

の降水確率が60%である聞き、もしかしたら小雨くらいでできるかも?とのわずかな期待をしての出発であった。当日の朝は、予想してい

に更なる次の台風5号がやってきている中で、決行である。前日迄、日を変更した方がいいのではと考える中、22日の天理で



た台風の影響もなく、穏やかな曇り空で一粒の雨もなく、昨年の暑さが嘘の様な涼しい中でのひのきしんであった。この度は、海松ヶ岡分教会から初めて参加してくれた吉田さん、神崎さんが大きな力となり、それから足場関係の仕事に詳しい笠尋の会長さんが加わって頂いた事は何よりも心強く、当日は、早朝より毎年来て下さる佐藤さんにも

詰所玄関・駐車場、南棟2階ベランダに取り付けられた趣向を凝らした看板

指揮を取って頂いた。詰所勤務の方々の手伝いや心配り、教養掛の先生方のお力も頂いて、無事午前中に作業を終える事ができた。

3階講堂のフロアーの張り替えに続き、看板取り付けとだんだんに準備の進んでゆく中、ボイラーの徹底修理には至らないが、受け入れる側の人達全員で力を結集し、真柱様の「笑顔で溢れるおちばにしたい」との思いに応えられる様、最善の努力をし、帰ってくる子供達に喜んで頂きたい。

(虫明立生)

躍進の集い開催

6・17 高屋分

高屋分教会(武内正美会長)は6月17日、6月月次祭後、講師に岩井喜市郎先生(櫻井大・伊都分教会長)を迎え、「高屋躍進のつどい」を開催、約180人が参加した。

同教会につながるよふぼく、信者が一手一つに歩もうと毎年実施されているもの。特に今回は本年11月17日に創立120周年をとめる上から。たすけ心をもって日々歩もう。古い信者さんの掘り起こし。道の後継者の育成——を三つの角目にこれまで活動を進めているが、一層の弾みになるよう

開かれたもの。

岩井先生は「人生には良い出会い、反面、悪い出会いというものがある。考えてみればそれぞれのいんねんを通してのものであり、徳次第だ。神様は私たちの通り方、つとめ方、つくし方をちゃんとお受け取り下さり、それに応じてご守護下さっている。お道を通る上でいろんな節などお見

せ頂くが、神様にお喜び頂けるように日々楽しんで通ることが大切と思う」と自身の布教体験を通して、喜びの信仰をしようと話された。
昼食はバイキング形式がとられ、各部内教会から持ち寄られた心尽くしの16種類の手料理が2会場に並べられ、参加者は楽しいひと時を過ごすとともに、記念祭に向け一層の躍進を胸に閉会した。

みんな集まれ!!

サマーキャンプ

大募集!!

天理教少年会笠岡団

8月22日(水)~24日(金)2泊3日

- ☆集合 8月22日 午後1時大教会
- ☆内容 水泳、クラフト、きもだめし
キャンプファイヤー、など
- ☆持参品 着替え、洗面具、帽子、水筒
長そでシャツ、ズボン、水着、懐中電灯、
雨具、ビーチサンダル、宿題、筆記用具
- ☆対象 少年会員(小3~中3)
高校生以上は育成係
- ☆定員 先着50名
- ☆参加御供 2,000円米2合野菜1品
- ☆申し込み 各教会又は大教会
- ☆〆切 8月15日



温故知新

いきいきエピソード 15

生涯、内助の功①

先号の続きを読む。

「母(コウ姉)は器用な事この上なしの女だった。出来上がりが変だろーと見掛けがどうあろうと、思い付いたら直ぐやっってしまう方だった。壁、襖、障子など手製の修理の後が一杯あり、張りぼての用器は沢山作っており、それに又いろいろの物が収めてあった。針仕事は人並み以上の腕であった事は確かだが、ランニングを真似て晒で作ってくれた事がある。縫い目が目立たないように、こまめに針が運んであった。何とかこれを着て運動会に参加した。少し恥ずかしい気がした。友達に堂々と自慢するくらいの元気が私にあったら、と今は思うが。

お金で買うことができないものは、何とか手作りで間に合わそうと、器用貧乏と世に言うが、貧乏で器用だった母は、何でも自分の手で作ったのだ。足袋も手縫いだった。鉄と針のできるものは全部作った。今残っていたら、家宝とし

て家の博物館に飾らねばなるまい。お手玉など一杯作った筈だ、あの手鞠が今手元がないのが残念だが、あれは最高の作品だ。キレイにかがってあった。母は手先は本当に器用だったが、人との付き合いは反対に大変不器用だったようだ。父も人との付き合いは下手だった。」

コウさんは後月郡吉井町の人で岡山大教会の後月集談所の役員を務めた棗田家の人である。どのようにコウさんが藤井家に来られる事になったのか、話は長くなるが、「いんねん納消―入信五十五年間の藤井の者達―」から引用する。私にはコウさんの辿られた道が藤井家の節目になっているように思える。

幸男先生の文章で当時の藤井家をはじめとする役員家の生活状態を偲びながら、記してみる。

「明治三十三年の正月には、幾太郎おじいさん、宇三郎お父さん(忠四郎氏亡き後に養子に入る)、おかあさん(以和)、若いおばさん二人(美津・千代の二人)、亀代と松代(以和・忠四郎の子供)は大喜びでお雑煮を食べた。和やかな七人の団欒で笑い声が続いたことだろう。県北の比婆の言葉も備南の農村言葉も、別に変わりがあ

るわけではなからうが、新入りお父さんは話し難く、がんすがんすと言って亀や松に笑われたくもれない。

宇三郎は早速教会の庶務係に任命され、教会の中に坐ることより、朝晩の清掃に努め、暇をみては近所の挨拶旁々布教にもと、足繁く歩いていった。

亀代、松代の二人はコロコロ元気に動き廻っていたが、以和も美津も千代も日陰の瓜のように青白く弱々しかった。やはり忠四郎の病気に感染していたのか、咳き込む、風邪を引きやすく、すぐ寝込むなどの症状が出ていたろう。それでも幾太郎は、一家が揃っていることが何よりの喜びで、神様に御礼を申し述べて満足していた。然し本人の胃の方は少しずつ加減が悪くなっていった。

明けて三十四年、正月六日、旧暦では、まだ年の暮の忙しい中、美津がポックリと死んでしまった。この美津は呼び名がマサで、少し頭の弱かったところがあつたようで、最初田林の裏へ三軒(田中、藤井、高田)が入る時、藤井は田林の離れ座敷に決めていた。何日住んだのか不明だが、マサが物を投げるので、大切な床柱や、

綺麗な壁に疵をつけてはいけないと、高田と交替した話が残っている。吉浜に居る頃はどうかだったのか。亀代や松代の子守を一日中していたとも言われているから、田林の表へ出て、子供がてら陽に当たり、いい風を吸っていたのだろう。二十四才で一生を了えたマサのために、以和と千代は特に心に深く悲しみを受けて、いつまでも泣いて死を悼んだ。数え年二十五才までこの世にあったマサの倅は、薄い薄いものであった。

以和が宇三郎の子を妊った。幾太郎は朝に晩に細かく気を遣って大事にするように本人に言い、周りの者にも口数多く何かと無理をさせぬように注意した。千代は亀代と松代の世話を引き受けたようにかかりきっていた。やつと梅雨も明けて、ジメジメした部屋の中でも少しはしのぎよくなった七月四日男の子を出産した。幾太郎も宇三郎も跡取りの誕生を心から喜んだ。

たりしたが、日が経つても回復の兆しを見せず、精根尽きたように、七月十三日息絶えた。祈りとおさづけを次々と受けながら、三十一才で父を残し、夫を残し、今まで一生懸命に育てた二人の子を残し、今生んだ赤ん坊もそのままに、千代の懸命の甲斐もなく、忠四郎の後を追って死んでしまった。もうすぐ明るい所へ出られる、そうしていい世の中にあえるんだと望み求めて居たのに、それを夢と消して。

宇三郎は勿論だが、幾太郎も千代もがつくり力を落としてしまった。家の中で誰も語らず、お互いに口をきかぬ日が過ぎ、悲しみに沈むばかりだった。やつと取り寄せた書類がきて七月二十三日宇三郎は役場に行ったが、我が子『良一』の出生届より妻の死亡届が先になって、何のこうをしているのか、頭の整理がつかなかった。

二人の姪の世話から、病人の介抱に疲れた千代に、今度は赤ん坊の世話役が増えた。まだ十七才の若い身には、大変な気苦労で困り果てていた。隣の田中多賀さんや高田のおばさんがいろいろと手助けしたり知恵を与えては下さったが、弱い千代には耐えきれない重荷と

なった。

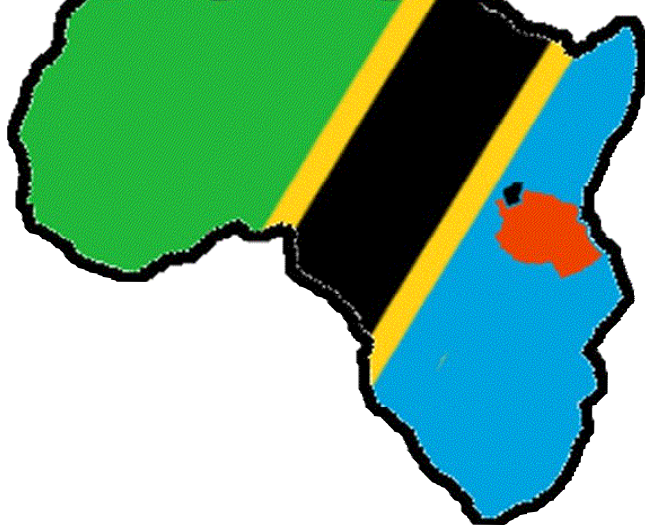
宇三郎は、我が身の周りに次々と起こってくる難問に、どう対処すべきか迷い惑い、神様にお詫びもできず、毎日教会へ行き何でもよい体を動かそうと、汗水たらして動き廻って、この難局を乗り切る努力を続けた。

千代は馴れぬ赤ん坊の世話の仕方を、田中さんや田林さんにも教わり助けてもらって、精一杯出来るだけの事をしていた。千代は良一を姉の身代わりと思つて、本当によく面倒を見たが、二ヶ月の命でしかなかった。良一を可愛がった千代は生みの親以上の落胆ぶりだった。亀代と松代を両手に抱いて、仕方ない、どうしようもなかった、するだけはしたのに、と涙ばかり流していた。」

以下次号に譲る。宇三郎先生の心の中を思うと言葉もない。笠岡は田頭の神殿が出来てこれから役員住宅の建築をとの思ひはあったが、内務省訓令の中、神殿建築の負債も重なり、教職舎普請は先送りされた。部内先々の教会も事情は同じであった。

(大教会理事)

タンザニア紀行



2. タンザニア到着

(前号より続く)

▼異文化との接触と言語の障壁

関西空港からドーハで乗り継ぎ、私たちは約20時間のフライトを終えてタンザニア空港に降り立った。ドーハとタンザニアの空港では言葉が通じず大いに戸惑ったが、そこは百戦錬磨の志郎先生が助けて下さった。実はそこから私にとって、言葉の障壁の始まりであった。現地に到着してからも、初めて出会う人々との挨拶に始まり、おたすけ先や訪問先での会話にはついて行けず、とても困った。特におさづけを願う人々の訴えにしっかりと耳を傾けてあげることができず、残念な思

いをした。さらに、孤児院や学校等を訪問した際に、彼らの現状を十分に聞き取り、細かなところまでニーズを聞き出すことができなかったことには、悔しさを超えて反省の念にかられた。

自分の信条として、おたすけに取り組む際に、つとめさせていただく側の「最低限の努力」は、神様にお働き頂くための必要条件である、と私は常日頃自らに言い聞かせている。「誠実の心で願えば、神様は必ずお働き下さる。」とばかりに、親神様に一方的に御守護を願うばかりでなく、人のたすかりを願うならば人間としての必要な努力は欠かせない、と考えるのである。したがって、タンザニアで難渋する兄弟の助かりを願うならば、お道の教えを信ずる者として、彼らと心を通わせるための必要最低限の言語を私は身につけておかなければならなかった。実はタンザニア布教に備えて、今は亡き福山の前会長様から英語の学習になるサイトを紹介してもらったり、川島郷の香取先生から英会話のCDをお借りしたりして、以前より少しずつ言語の習得に取り組んではいたが、この度の布教には間に合わせることはできなかった。このことを深く反省して、次回のタンザニア訪問を目標に、現在すでに、以前にもまして語学の習得に励んでいるところである。

さて、話は空港到着時に戻る。タンザニア空港に着くと現地の用木であるステイブが出迎えて



広大な大地

くれているはずであったが、それらしき人物は見当たらない。志郎先生が発前に、彼らの時間のルーズさについて説明してくれていたがその通りで、40分遅れで、ステイブとナイマ(用木)、そしてその友人が迎えに来てくれた。それ以降、時間のルーズさについて滞在中ずっと思ひ知らされることになる。毎朝運転手が私たちを迎えに来てくれるのだが、八日間の滞在で一度も時間通りの



大統領の奥さんの兄家族と

迎えはなかった。日本の場合だと、2、3分の遅れでも、「すみません、遅くなりました。実は、」と、まずは時間の遅れに対しての弁解から会話が始められるが、この国では、2、3分どころか、2、3時間の遅れはざらの様で、悪びれる様子も全くない。私たちが滞在の後半には、このタイムラグを一日のスケジュールに盛り込んで、宿泊所の近所で、にをいがけやおたすけ、てをどりなど

を行うほどであった。何もせずに待っている時間がもつたのではないという、まさに日本人の感覚の身に染み付いた行動であったなど、後で思い返したのだが。

しかし、後に述べるソングアの町からダルエスサラームへの900kmの帰り道、現地で出会った人々の笑顔を思い浮かべながら、私はふと思った。私たち日本人は時間を大切に、無駄なく効率的に働き、暮らしている。そうした勤勉さが戦後の日本の復興と経済成長を支えてきたと言えるだろう。だがその一方で、現在の日本の生活の中で、人々があまりに時間を精細に意識しすぎて、かえって窮屈になっているのではないかと思わされたのである。果たして、時間に追われ忙しく暮らしている私たちの営みは、これでよいのだろうか。現地で出された料理は日本人の舌と相性が良く、どれもみなおいしかったと思っていたのだが、ひよっとすると日本にいる時のように時間に追われることなく、ゆったりと食事に向かえたことが、その味を十分に味わえ、おいしいと感じることにつながったとも思われるのである。

親神様は、私たちの日々の暮らしの中に、陽光がらしができるようにと多くをお与え下さっているが、時間に追われる私たち日本人はそれらをどれほど味わえているだろうか。人々が穏やかにのんびりと暮らす異国の地で大いに考えさせられた。

(芳井分教会長 佐藤真孝)

・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介
③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字~1200字)
題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。
俳句等は一句からでも結構です。

寄 稿 先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。

郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

FAX：0865-66-1314

メール：tenkasa@yahoo.co.jp

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



「歯の衛生ポスターコンクール」で市長賞受賞

— 香地華分・武内いづみさん —

福山市立山野小学校1年生の武内いづみさん(7歳・香地華分教会長、武内清和さんの長女)は先ごろ、福山地区歯科衛生連絡協議会主催の2012年「歯の衛生週間図画ポスターコンクール」で福山市長賞を受賞した。

このコンクールは6月4日の「虫歯予防デー」に合わせたの啓発行事の一環で、福山市教育委員会を通して市内の保育所(園)・幼稚園児から中学生までを対象に毎年実施しているもの。今回の応募は3,292点。

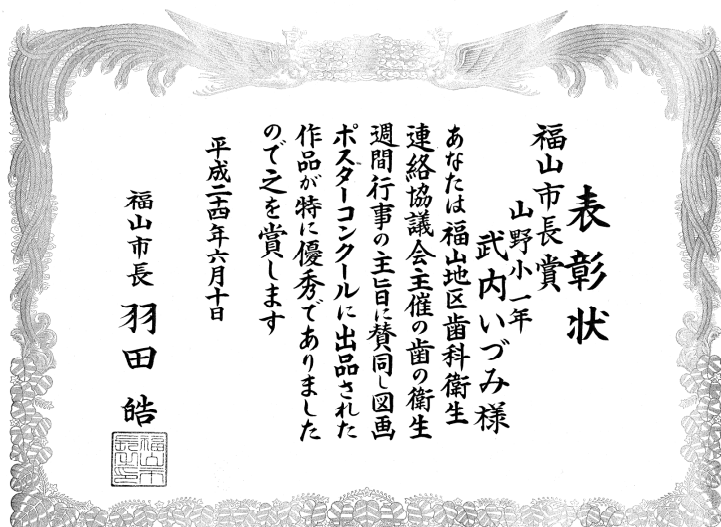
審査の結果、福山市長賞4人、福山教育長賞4人、福山市歯科医師会長賞4人、福山地区歯科衛生連絡協議会長賞4人が選ばれた。各賞とも保育所(園)・幼稚園・小学校・中学校から1人。

いづみさんは学校の授業でこの絵を描いた。机の上に鏡を置き、映った自分の顔を水彩絵の具で描いたもの。「口を一杯に大きく開けていたのでしんどかった。眉毛を一本ずつ丁寧に描こうと思ったので、これが一番難しかった。面白い顔になってしまったが、自分ではうまくできたと思う。賞をもらえてうれしい」と話す。歯磨きは絵のように口を大きく開けて朝晩必ずする。虫歯は無い。

受賞作品は市役所本庁舎に展示、また私製ハガキ(正規の切手を貼れば郵送可)にされ本人に10枚プレゼントされた。

父・清和さんが香地華分教会長就任を機に、これまで過ごした天理の笠岡詰所から今年3月末、両親と妹とともに教会のある福山市山野町に引っ越した。通学する山野小学校は全校生徒6人。1年生は1人。学校までは約1.5km。毎日元気で歩いて通っている。

「寂しくはない。いろんな景色を見て楽しい。大きくなったら好きな絵を描く仕事をしたい」と夢は一杯だ。



福山市長賞

表彰状とハガキにされた受賞作品

(写真提供:武内いづみさん)

第70回 笠岡大教会英語講習会

日 程	平成24年8月6日(月)～7日(火) (1泊2日) 8月6日の朝8:30 大教会集合 9:00出発 (マイクロバス、ワゴン車) 8月7日 16:00頃 大教会解散
場 所	国立吉備青少年自然の家 (岡山県加賀郡吉備中央町吉川4393-82) ※現地参加も出来るよ! (0866-56-7253)
内 容	自然の中で、楽しむ英会話。目標によるクラス分け授業、ウォークラリー、きもだめし。ゲストによる講話、宿題をする時間、スキット、外国人布教に役立つ布教英会話 など 毎食おいしいバイキング だよ!
対 象	小学6年生以上の学生、青年、女子青年層～大人
募集人数	30名程度
参加費	1,500円
携行品	宿泊セット、筆記用具、タオル二枚、長袖シャツ、辞書(英和、和英)、宿題、常備薬
応募期間	平成24年7月31日まで
主 催	天理教笠岡大教会海外部

教会おとまり会の季節がやってきました。少年会本部では、ホームページ上に、勧誘用の教材などを、多種ご用意くださっています。「教会おとまり会の全隊実施」に向けて、ご活用ください。

1) 天理教少年会本部ホームページを開きます。 <http://tenrikyo-shonenkai.org/>

「教会おとまり会」の1.2.3!

子供たちが教会に「泊まり」、
「おつとめ」をつとめ、
「ひのきしん」の喜びを味わう。
さあ、「教会おとまり会」を始めよう。

▶ 詳しくはこちら

- 2) [▶ 詳しくはこちら](#) をクリックします。
- 3) [▶ ダウンロードはこちら!](#) をクリックします。
- 4) メニューの中の項目をクリックします。
- 5) 「案内チラシ」・「実技紹介」・「お話参考例」・「おとまり会例」など、盛りだくさんの内容です。

CONTENTS
案内チラシ
実技紹介
お話参考例
おとまり会例

こころの詩

▼天理教道友社発行『天理時報』、「時報歌壇」・「時報俳壇」より転載
 ▼笠岡に繋がる教友の方が選ばれ掲載されていましたので転載させていただきます。おめでとございます。

7月1日付 海松ヶ岡分教会 池田 広子さん

今日からは夏服となり涼しげな
 半袖姿の子等登校す

海松ヶ岡分教会 石川 泰子さん

眼を病みし娘の退院よろこばし
 玄関先に打ち水をする

海松ヶ岡分教会 藤井 光子さん

たんぽぽの銀色綿毛 吹き飛ばし

幼に返りぬ散歩のみちに

7月8日付 海松ヶ岡分教会 池田 広子さん

お向かいも隣も簾すだれかけはじむ

▼養徳社発行『陽気』誌七月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「昇」、笠岡に繋がる教友の方が選ばれ掲載
 されていましたので転載させていただきます。おめでとござ
 います。

秀 詠 東悠分教会前会長夫人 田林美智子さん

さあ一日陽気ぐらしの太陽が昇る

▼表紙写真

(吉岡輝昭かさおか編集部員)

集え!若きあゝきとろうりよう

青年会本部が昨年より提唱している『あらかとろうりよう入門塾』。これは、男子高校生層を対象に、早いうちから青年会活動に親しみ、あらかとろうりようの道を目指すべく開かれているもので、笠岡分会でも昨年に引き続き、来る8月15、16日に開催いたします。『出口があっても入口がない…』というのが、今の青年会の現状。つまり、40歳で青年会を終え、OBとなる出口の意識はあっても、16歳から青年会に入会するという入口の意識が殆どない。その青年会への入口を明確にしようというのが、この『あらかとろうりよう入門塾』です。

今回も、「学生生徒修養会高校の部」の参加者が、そのまま受講できるよう、8月15日17時受付開始としています。また、学修参加者以外も当然参加可能となっているので、夏休みを利用して、一人でも多くの受講者をお待ちしています。

内容は、大教会長様お話、委員長お話、ひのきしん、グループタイム、バーベキュー、三二四駆大会等、高校生に親しみやすいプログラムを組んでいます。

青年会活動に早くから参加する事も『おつとめ奉仕人の増員』につながり、行く行くはそれぞれの教会の力になるものだと思います。どうか皆様方には、先を楽しみに「育成」にご協力いただきたいと思います。特に、高校生層は、人数が限られているので、お心当たりのある方には、声かけを宜しくお願いいたします。

青年会笠岡分会 入門塾実行委員会

◆要 項

日 時：8月15日(水)午後5時 受付開始 ～ 16日 正午ごろ 解散(昼食後)

対 象：高校生層男子(高校生以上でもスタッフとして参加可)

参加費：無 料

携行品：宿泊セット・汗拭き用タオル

内 容：記事本文に記載

※1日のみの参加でも構いません ※参加申し込みは、大教会・杉原善朗まで

第857期修養科募集要項

*修養科期間

立教175年9月1日～11月27日

*教 養 掛

3ヶ月間	横 山 逸 郎	(大教会准役員・東 城 分教会長)
1ヶ月目	吉 岡 輝 昭	(安 那 分教会長)
2ヶ月目	津 森 朋 之	(簸ノ川分教会長)
3ヶ月目	仙 田 公 男	(天場山分教会長)

*募集要項

- ・志願者は、9月末日現在で満17歳以上で、必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・8月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、11月29日午前10時に解散。

<神 事 部>

○神殿奉仕当番について

- ・原則としては夕づとめから翌日の夕づとめ迄ですが、原則通りの当番が無理なら、現時点では、朝から翌日の朝とか、終日が無理なら半日でも結構です。早い内に当番日を決めて原則通りにおつとめいただけるようご努力をお願いします。

<布 教 部>

○教会長特別講習会について (詳細については6月号掲載)

対 象 教会長21人、配偶者18人

日時・人数 ○8月24日(金) 10人 ○9月16日(日) 9人
 ○9月23日(日) 14人 ○9月25日(火) 6人

○おたすけマップ実修会

期 日 8月28日(火)

場 所 たかみなみ高南分教会(南大部属、東大阪市高井田4番25号)

※詳細は布教部まで

○ひのきしんスクール「カウンセリング」

期 間 8月26日(日)～28日(火)

会 場 南右第2棟3階

対 象 よふぼく30名

※詳細は布教月報7月号参照

<史 料 部>

○大教会史編纂について

- ・歴代会長履歴を各ブロック担当者まで提出下さい。

<管 理 部>

○ステージ撤去について

- ・創立120周年記念祭に使用した中庭設置のステージを近日中に撤去します。

<詰 所 掛>

- こどもおちばがえり期間中、**ドライヤー・小型冷蔵庫は使用禁止**

教会別人づくり一覧表 (立教175年1月1日より 立教175年6月30日まで)

名称		初席	授訓	三日講習	修養科	教員講習	教員登録	会長格定	名称	初席	授訓	三日講習	修養科	教員講習	教員登録	会長格定	名称	初席	授訓	三日講習	修養科	教員講習	教員登録	会長格定
笠岡	福山	4	2				1		福春								新輝							
福山	高屋	3	1		1				福中	1							豊山							
高神	島邊	1							福土								田川							
久鶴	松根	1							福東	1							出雲							
弥高	山山								福南		1						天場							
摩耶	浦明	1							福順								多古			1				
金興	と山		1						福節								瑞雲			2				
ひろさ	井照	1							福輝								神村							
陶芳	松ヶ岡	1			1				坪生								呉江			1				
海松	悠江	1					1		八深	1		1	1	1			大橋							
東吸	江陽								芦安								品久							
照輝	美山								芦田								久久							
新山	石部		2		1				芦加	1							呉福							
明石	中市	1							芦常								南鶴							
上府	中家								芦茂								眞郷			1				
東服	中家								芦陽								川島			1				
島驛	中家								芦實								川島							
油葦	中家								芦野								川島							
湯田	中家								芦華								川島							
備神	中家								芦金								川島							
美之	中家								芦倉								川島							
錦笠	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉								川島							
	中家								芦倉															

立教百七十五年 六月月次祭 祭典役割表

控	胡	三	琴	小	す	太	拍	ち	笛	て	お	地	役割		講	扨	祭
													方	区分			
え	弓	線		鼓	が	鼓	子	ん		を	と		坐	中	杉	大	
武	上	虫	今	中	西	上	田	河	中	門	大	岡	大	高	上	吉	大
内	原	明	川	村	江	原	中	原	島	脇	教	本	教	木	原	岡	教
清	順	好	佐	道	昌	志	隆	節	誠	郁	会	久	会	昭	澄	長	会
明	子	美	智	徳	直	郎	之	喜	治	子	奥	善	長	祥	雄	善	長
浅	笹	岡	佐	山	横	三	今	中	上	谷	武	岡	上	岡	佐	前	後
野	尾	崎	藤	野	山	島	川	村	原	内	内	崎	原	崎	藤	半	半
明	一	豊	香	弘	逸	涉	昌	義	浩	美	正	真	繁	輝	道	孝	河
教	美	子	苗	実	郎	涉	彦	太	浩	知	美	一	道	彦	治	剛	原
	中	高	三	森	虫	吉	田	赤	内	横	内	岡	中	山	杉	中	祭
	村	木	島	本	明	岡	林	木	海	山	海	崎	村	田	原	村	典
	初	孝	照	忠	立	誠	久	素	史	小	加	和	邦	敏	博	剛	役
	美	子	美	善	生	一	嗣	志	郎	智	津	夫	義	教	之		割
										榮	子	自					表

指	賛
図	者
方	
岡	田
本	林
久	久
善	嗣

八月講話 河原節喜

訃報

藤本キヨミ姉

西村分教会四代会長

六月二十四日出直されました。享年 九十七才



私の入信は家内との出会いにあり
ます。

結婚前、一緒に笠岡詰所へ教養掛の助員で当方の前々会長を訪ねた時、本部神殿へ案内して頂き、何やらクドクド聞いたけれど記憶には有りません。子供が生まれて島根へ！やがて教会へ・・・その前々会長は「お前は元の家に戻って来たのやから婿養子じゃない、ゆえに名前に一が付いている、後継者！や」と聞き、嬉しく成って、言われるままに「おさづけの理拝戴」させて頂いた。

その時、実家に立ち寄り、父親に「おかさげ」を見せて「俺は今日から、天理教の用木や！」と宣言しました。私の実家は親戚に「薬師寺」の御坊さんが居て、伯父が「薬師講」

の講元でした。その御坊には、学生時代の多感な時にお世話に成り、軌道修正を受けました。そんな関係で、かの有名な高僧〇〇師から「天理教の教えは、素晴らしく立派な教え、お前の様なものは、信仰が無いと駄目だから、しっかり信仰しなさい！」と訓示下さった。(師は、天理教二代真柱様との親交が有った事を後に知りました)当の父親は「おい！あんまり深入りするなよ・・・」と。教祖の雛形時代の、阿呆よ、馬鹿よ、の聞き伝えしか知らない父はそうであるう筈でした。何が深入りどころか、教会長に成ったのだから、薬師寺の高僧はさすがに私の先が見えていたのでしょうか？「間違いのない確かな教え」と、今でも私の背中を押して頂いているような気がしません。

今、教祖百三十年祭に向かう時、この秋季大祭には「論達第三号」の発布も公表されて、論達巡教も企画されていると伺います。私自身「おとめ奉仕人の増員」を目指して「中席者」の推進、初席者の発掘に、まだまだ間に合うと、奔走する毎日です。そして目標達成！のその日まで、懸命に努力と丹精を惜しまず自教会の上に尽くして参ります。

(に)